



=お役立ち情報をお届けします=

QC

サークル茨城地区かわら版

体験事例から学ぶQCサークル活動の活性化のポイント

新型コロナウイルス感染症の分類が「第5類」に引き下げられ、あらゆる規制が緩和されたことで、私たちの生活環境、働き方も以前の姿を取り戻してきました。今年度は多くの会員会社が茨城地区の大会、研修会に現地でご参加いただきました。QCサークル活動においても、各社がニューノーマル時代に即した活発な活動の姿を作り出した年であったと感じました。

こうした状況の中、会員の皆さんが「QCサークル活動」をさらに活発に行って頂ける様、本誌を通してお役立ち情報を紹介いたします。

本第7号では、第6511回秋季大会において県知事賞を受賞した改善事例を、2つの側面からご紹介いたします。

①事例から学び、真似をしよう！ワンポイント解説

②トップサークルに聴く！QCサークル活動の運営の工夫

<編集委員> 佐藤義行、薄井健次、佐藤文人、佐藤慎吾、石橋和弥

サークル・職場紹介

ひんかんサークル・日産自動車(株)いわき工場

活動
テーマVR30ウォーターギャラリーパイプの
ペイント剥がれの撲滅

所在地 : 福島県いわき市
 グループ構成人員 : 10名
 メンバー平均年齢 : 32.9歳
 平均業務経験年数 : 10.8年
 サークル発足 : 1994年4月
 本テーマの会合回数 : 14回



日産自動車(株)いわき工場は、日産を代表する高級車のエンジンを生産しています。ひんかんサークルが所属する管理課 品質保証Grは、INFINITIのエンジンの品質グローバルNo.1を目指し、日々エンジンの品質保証業務を行っています。

ひんかんサークルは品質保証の中でも組立と外製の2つのGrのメンバーで構成されています。組立Grで組立工程の品質保証業務を、外製Grでは、サプライヤーの対応窓口、監査、外製部品の不具合対応などの業務を受け持っています。



VQ・VRエンジン



エアレディZ



スカイライン

高級車に搭載するVQ・VRエンジンの生産工場

こんな事例です

本事例は、現場の困りごとである部品のペイント剥がれ不具合に対して、品質保証の立場から他部署、サプライヤーを巻き込んで不具合撲滅を進めた事例です。

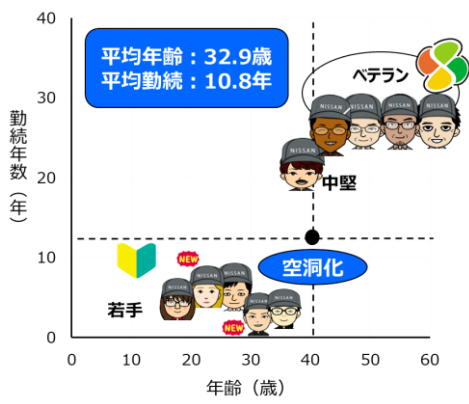
この事例では、まず運営面の工夫が良く示されています。サークルの現状を定量的に評価し、サークルが抱える課題を計画的に克服していこう！という、活動の進め方がとても参考になります。

改善手順では、基本の問題解決型QCストーリーに則り進めています。この事例で特徴的な点として、サプライヤーを巻き込んだ現状把握、対策検討と検証が挙げられます。活動範囲の広さから、サークルに所属するベテランメンバーのレベルの高さがうかがえます。ベテランの牽引力が運営面の目標である若手育成にも大きく影響しており、職場にメンバー成長の仕掛けが根付いていることがよくわかります。

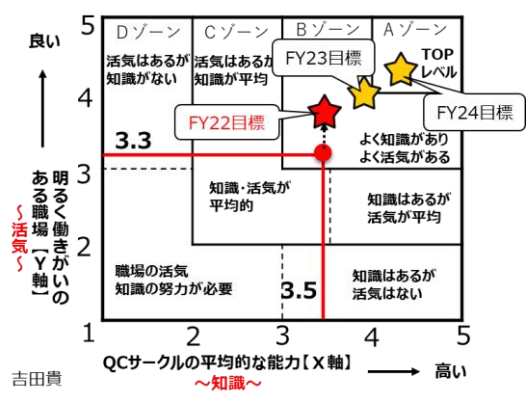
事例の解説のあとにメンバーへのインタビューも掲載していますので、発表資料だけでは伝えきれない『ひんかんサークルの運営の工夫』をぜひ参考にしてください。

①ここがポイント-1 サークルの現状把握と計画的な若手育成

◆サークル人員：10名



◆サークルレベル評価



ひんかんサークルのメンバーは勤続年数で見ると若手とベテランの層がはっきり分かれ、中堅層の空洞化が分かります。その為、若手の育成が急務であるとサークルの課題を把握しています。

同時にサークルのレベル評価では「知識」と「活気」の2軸からゾーン評価を行い、24年度にAゾーンを目指すという目標を見据え、今回は「活気」のレベルアップをすると活動方針を立てています。

若手育成に対しては、「伝統の5ヵ年育成計画」と題し、段階に分けて教育、確認のステップを踏むQCリーダーを育成する仕組みが構築されています。

この事例では、運営面での取り組みが良く示されており、大変参考、模範となります。QCサークル活動において、人材育成は重要な要素です。皆さんもサークルの現状把握、目標設定、対策実施の計画を立てるこれらの手法を参考にサークル運営をしてみましょう。

また、長期スパンでの人材育成には、上司、管理者の支援が欠かせません。このような素晴らしい運営活動の陰には、企業の教育理念、支援者の情熱があると感じられます。

ひんかんサークル ～伝統の5ヵ年育成計画～				
第1段階 QCを説明する	第2段階 やってみせ・やらせてみる	第3段階 教えたあとをみる	現サークルリーダー 吉田貴	
QCと出合いサークル員として活動参加	ベテランとペア活動実施	QC手法の実践	テーマリーダーとして改善活動実践	QCサブリーダーとしてサークル運営習得
QCと出合い	目覚めの時	学習の時	飛躍の時	躍進の時
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目以降

QCリーダーとしてサークル運営開始

- ✓ 定量的なサークルの現状把握
- ✓ サークルの成長目標を設定する
- ✓ 目標達成の為のメンバー育成計画立案

継続的な人材育成により 常に現場の問題解決ができる体制を構築

①ここがポイント-2 サプライヤーを巻き込んだ現状把握と対策検討

◆サプライヤーでの管理状態 工程監査を実施!

サプライヤー
場所：静岡県

3現主義で確認!
現地・現物・現認!



不具合の現状調査の為、発生個所の候補の一つであるサプライヤーの工場まで行き、工程調査をしています。徹底した3現主義で4M変化点を調査することにより、ペイント剥がれがどの段階で発生しているのかを明確にしています。

また、現状把握で分かったことをまとめてから要因解析に移ることで、後戻りしない活動になっています。

◆4M変化点調査

場所	人	モノ	設備	作業方法
輸送	変化点無し	変化点無し	変化点無し	変化点無し
サプライヤー	変化点無し	変化点無し	変化点無し	変化点無し

◆現状把握のまとめ

①	W/ギャラリーパイプのA部のみ剥がれ不具合が発生している
②	ペイントの剥がれ方にはバラつきがある
③	いwijkに着荷した時点でペイントは剥がれている
④	サプライヤーでペイントが剥がれる要因はない
⑤	サプライヤー、輸送共に4Mの変化変更点なし



問題解決において、現状把握、調査のステップは大変重要です。ここで正確に現状を把握できていないと、この後の要因解析、対策立案が的外れな結果になりかねません。

正確な現状把握のために、最も重要なのが3現主義です。この事例では自工程に着くまでのすべての工程で調査を行っています。サークルだけでは3現が困難なときがあるかもしれません。その時は、周囲の支援者に状況を説明し、有効なサポートを受けましょう。

- ✓ サプライヤーの会社まで3現調査
 - ✓ 現状把握をまとめ、事実を正確に捉える
- 聞いた話で終わらせない
現地・現物・現認で自ら確認!

①ここがポイント-3 多方面からの対策検証と副作用の確認

物流Gr荷姿班とサプライヤーと打合せを実施

ペイント削れを無くすためにご協力ください!

他部署連携

輸送トライアルも含めて検討していきましょう

物流Gr
荷姿班



サプライヤー
・品質担当
・荷姿担当

【輸送トライアル結果】

緩衝材上で製品を擦ったときにコンタミがあるか確認

緩衝材種類	削れ	作業性	コスト	コンタミリスク	採用
付箋(白)	なし	剥がす作業有り	2円/枚	有り	×
カーテープ	なし	剥がす作業有り	3円/枚	有り	×
ビニール	なし	剥がす作業無し	1円/枚	無し	○

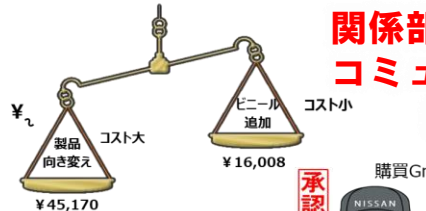


対策案の検証、及び対策の副作用確認が良く行われた事例です。要因を取り除くには有効な対策案だったとしても、実施後に不安全な作業、コンタミの発生があっては意味がありません。この事例では、コストアップを許容するために、コスト比較を行い、対策メリットを関係部署に承認をもらい進めた点がとても参考になります。

- ✓ 多方面から対策案の検証を実施
- ✓ コンタミリスク有無から採否を決定

◆コストの跳ね返りに伴い

関係部署の承認を取り
コミュニケーションも
ばっちり!



工場の困りごとであり製品の向きを変えるよりもコストが低く元が取れる事から購買OK



- ✓ 対策実施前にSQCで副作用の確認

② トップサークルに聴く！QCサークル活動の運営の工夫

リーダーの吉田さん、発表者の矢内のさんにインタビューしました

Q1 県知事賞受賞おめでとうございます。 受賞後、社内での上司や同僚からの反響はいかがでしたか？



矢内さん

この度は最高峰の賞を頂けて大変光栄です。ありがとうございます。社内では、月始めにいわき工場全体に放送される場で大会の様子と受賞の喜びを報告しました。

放送後は他職場の方々からもお祝いの言葉を頂けて、**今後のQCサークル活動へのモチベーション向上に繋がりました。**

Q2 テーマ候補の集め方はどのようにしていますか？

ひんかんサークルでは、事前に各サークル員へテーマを考案するようにお願いしています。

会合当日には、**持ち寄ったテーマをホワイトボードに書き出して、マトリックス図法を使用しながらテーマを決めています。**



矢内さん

Q3 小集団活動にあたって上司との連携はどのようにしていますか？



吉田さん

月1回の会合へはサークル長の参加はもちろんのこと、今年度はアドバイザーや副世話人にも出席してもらっており、**会合の進め方やストーリーの進め方に対するアドバイス等**を貰っています。また、活動板を用いて活動の進捗や**困りごと**を掲示して誰でもいつでも状況が共有できる様に管理しています。

Q4 活動を行うなかで他部門との連携はどのように行っていますか？

他部署へお願いごとや相談をするときには、QCリーダー及びサークル長へ相談し打合せなどの場を設定することで状況の共有を図っています。

また、**普段から関連性が高い部署とは雑談などを交えながらコミュニケーションを図っておくことで相談しやすい環境**を作っています。



矢内さん 4

② トップサークルに聴く！QCサークル活動の運営の工夫

Q5 若手育成のための「伝統の5カ年育成計画」がとても印象的でした。育成計画については、ひんかんサークルが独自に行っているものでしょうか、それとも事務局などから若手育成に対する方針が示されているのでしょうか？



吉田さん

ひんかんサークルオリジナルの育成計画となっています。2018年以降にサークルメンバーが一気に若返ったことで、これからは計画的な育成が重要であると考え、長期の育成計画を立てた上で、テーマリーダーや大会発表者も決めています。

Q6 現状把握においてサプライヤーの現場まで行って工程確認したのは大変な事だったかと思います。サプライヤーの協力を得るにあたって、周囲からどのような支援を受けられましたか？

今回のテーマは、現場での困りごと兼、弊部署での困りごとでもあり重要度も高く、上司へ相談した所、上司から状況を説明頂き今回の確認を実現することが出来ました。

現地での確認ではサプライヤー様との連携も図れ、より密な活動をすることが出来ました！



吉田さん

Q7 今回の改善活動を行った事で、サプライヤー側からのコメントや反応は何かありましたか？



矢内さん

今回の解決で対応工数などが無くなり大変助かっております。との返事を頂きました。

そこに至るまでに“マーキングが無い事”に関して何度かサプライヤー様へフィードバックを実施し工場内の在庫点検にご協力を頂く事もありました。

② トップサークルに聴く！QCサークル活動の運営の工夫

Q8 対策内容が他工場へ水平展開されています。社内で水平展開を進める仕組みや、周囲からの支援がありましたか？

日産自動車の全拠点で改善活動を共有する場があります。
他工場の職場改善事例が閲覧でき、ベンチマークしやすい環境にあります。
今回の水平展開は“水平展開シート”というもので全拠点へ展開し、情報の共有化を図りました。



吉田さん

Q9 若手の育成計画において、人材育成センターを開校、品証GrのQC知識底上げを図るために勉強会を実施されています。実際に参加された方の反応はどうでしたか？



吉田さん

QCサークルとは？から新QC七つ道具までカリキュラムがたくさんあり勉強になります。
社内での集合教育もありますが、少人数でしっかりと時間を掛けて教え込んでいくため分からない点はすぐに確認することが出来たので良かったです。と言った声が多く上がっています。

Q10 今回の秋季大会で発表した感想や、他社の事例などから学んだことがあれば教えてください。

私自身初めての社外大会への参加で不安もありましたが、工場内での発表会を重ね、今大会で最高賞を工場としても初めて受賞できた事とても嬉しく思っています。
他社の事例では、改善を進めるにあたってサークルメンバーの現状自己分析をグラフで表し、自サークルの弱味を明確にし、活動を通して自己分析のレベルUPが分かりやすい資料となっており、私達自サークルでも活用していきたいと思いました。



矢内さん

ひんかんサークルの皆さん、ご協力いただきありがとうございました。今後メンバー一丸となった活動で、更なる飛躍を期待いたします。

